

起業家的思考力 生徒ら学ぶ

美山中 地元の事業者招き授業

生徒たちを前に、起業について話す
田歌舎の藤原代表(南丹市美山町・美
山中)



南丹市美山町の美山中は12日、生徒たちに起業家的な思考力を養ってもらうと、地元起業家による授業を開いた。自然との共生を新たな事業として成立させた田歌舎の藤原代表(45)が講師を務め、「多くの人がチャレンジしてほしい」と

文科省の起業体験推進事業シリーズ第1弾。起業家の働き方を通して、地域の資源や可能性を生かす方法などについて考えるのが狙い。1、2年生約30人が参加した。藤原さんは大学を卒業した後、美山町へ移

住。30代になって、田歌舎を立ち上げ、自給自足的な生活を軸に、ジビエの販売、レストランや宿の経営、アウトドアツアーなどの事業を展開している。

起業に際し、美山町を選んだ理由を「美しい川が暮らしのそばを流れているから」と語った。その上で、森林は各種ジビエ、川魚などに恵まれ、都心部に近い点も事業に有利だったと言いつつ、「人の手でしか作られないものに価値は高まる」とのヒントも示した。

(三谷茂)